

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス リカバリー富士			
○保護者評価実施期間	令和7年6月16日 ~ 令和7年6月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和7年6月16日 ~ 令和7年6月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年7月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・支援に必要な環境設定や利用者にとって過ごしやすい設備の整備が整っている。 ・安全に過ごすための器具や装置、システムを揃えている	・イラストを主とした案内で視覚的に物事をとらえやすくしている。 ・窓や出入口には転落や飛び出し防止に配慮した重複施錠を採用している。 ・職員間でマートフォンのアプリを使用し都度情報共有又は状況確認等ができるようにしている。	・今後肢体不自由者にも対応できるような出入り口のスロープの設置も求められる。
2	・職員全員が有資格者であり、これまでの経験を生かした支援を提供することができている。 ・個々の特性や環境に適した支援方針の提案やプログラムの組立ができる。	・社内研修や社外研修の積極的な受講を推奨するとともに、資格取得に向けたサポート制度も充実している。 ・朝礼や終礼、事業所内ミーティングやモニタリング会議等で利用者の課題について多視点からの意見を出し合い、最適な支援方法を検討している。	・支援計画に沿った支援をする中でも、利用者や状況に合わせた支援内容の変更を職員間で話し合いながら柔軟に対応していく。
3	・各種災害や感染症の蔓延等の非常事態に対応できるような対策がなされている。 ・B C Pに基づいて有事の際でも施設運営ができるような対策がなされている。	・風水害や火災、地震や感染症の蔓延等の緊急事態に的確な行動ができるよう、職員向けのマニュアルの整備はもちろんのこと、研修や訓練を重ねることで有事でも落ち着いた行動と安定的な営業ができるようにしている。	・訓練を通して、よりリアルなシミュレーションをすることで、実際災害が起った際のスムーズな対応につなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	※階段や段差があるため車いす等の肢体不自由者を利用者が来所された際は、困難が生じる。	※施設の構造上、利用者が過ごすスペースは1Fと2Fになる。エレベーターやスロープの設置がないため、現状では職員が抱えて移乗や移動することとなる。	※エレベーターの設置は難しいが、出入り口のスロープ設置等は対応可能。
2	※保護者会や家族参加型のイベントの開催はできていない。	※利用者の安全を確保した上で、ご家族の負担が少なく楽しめるためにはどのような活動にしていくべきか検討していく必要がある。	・事業所独自の保護者アンケートも活用し、自宅や学校とは違った一面が見られるような場を設けるよう検討する。
3			